

昭和100年展

昭和の野々市

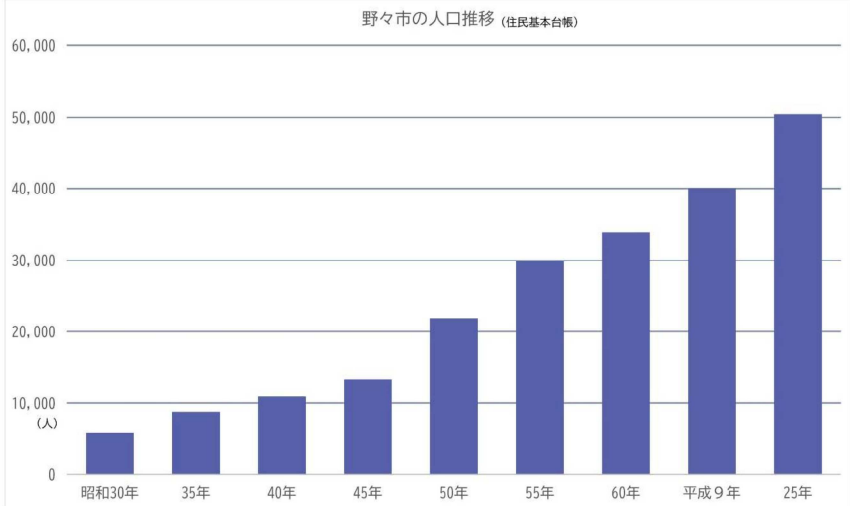
1926～2026

野々市の 100 年をふりかえる

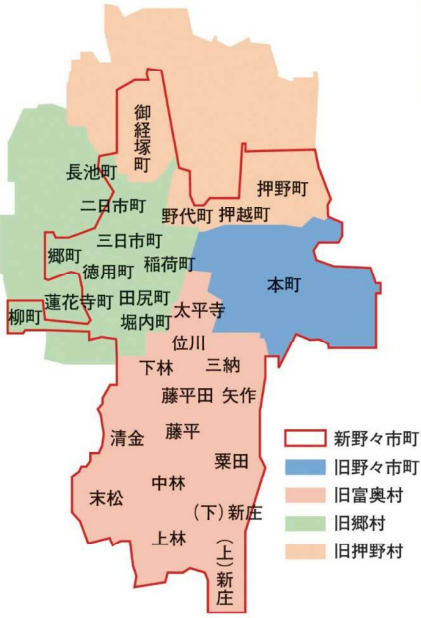
昭和は野々市が大きく転換した時代でした。昭和 28 (1953) 年に「町村合併促進法」が公布されると、野々市にも合併の波が押し寄せてきました。

人口は、昭和 35(1960) 年には 8,758 人にすぎませんでしたが、昭和 45(1970) 年頃から急増し、昭和 60 (1985) 年には、33,892 人となりました。昭和初期は田園風景が広がる地域でしたが、昭和 35(1960) 年頃から、町の北にできた国道8号線沿いに工場が進出、住宅地が増え、大学をはじめ教育施設が集中し、大型スーパーの進出も相次ぎました。

その後、平成 22(2010) 年に人口5万人を超え、野々市市となりました。



昭和 35(1960) 年 町章の制定
 野々市町合併5周年を記念して全国公募により決定した。応募総数 562 点の中から、平松敬堂氏(熊本県)の作品が選ばれた。写真の町旗は昭和 60(1985) 年に町制 30 周年を記念して製作された。



昭和 32(1957) 年 現在の野々市の姿になる
 昭和 30(1955) 年に旧野々市町と富奥村が合併し、新野々市町が誕生。昭和 31(1956) 年に旧郷村が野々市町と松任町へ分村編入、昭和 32 (1957) 年には旧押野村の一部を編入した。